

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-322045

(P2004-322045A)

(43) 公開日 平成16年11月18日(2004. 11. 18)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F I	テーマコード (参考)
B O 1 J 35/02	B O 1 J 35/02 J	4 G O 4 7
B O 1 J 21/18	B O 1 J 21/18 Z	4 G O 6 9
B O 1 J 37/04	B O 1 J 37/04 I O 1	
B O 1 J 37/08	B O 1 J 37/08	
C O 1 G 23/047	C O 1 G 23/047	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2003-124250 (P2003-124250)	(71) 出願人	599073917 財団法人かがわ産業支援財団 香川県高松市林町2 2 1 7番地 1 5
(22) 出願日	平成15年4月28日 (2003. 4. 28)	(74) 代理人	100102314 弁理士 須藤 阿佐子
		(72) 発明者	湯 衝平 香川県高松市林町2 2 1 7番地 4 3号 (財) かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所内
		(72) 発明者	池田 和弥 香川県高松市林町2 2 1 7番地 4 3号 (財) かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所内
		Fターム(参考)	4G047 CA02 CB05 CC03 CD03 CD07

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 新規な可視光励起型光触媒とその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 二酸化チタン光触媒に簡便な方法で可視光励起光触媒活性を付与するとともに、紫外領域の光励起触媒活性をさらに増強した光触媒とその簡便な製造法を提供すること。

【解決手段】 チタニウムのアルコキシド化合物あるいは硝酸塩、または塩化物と炭素を混練した混合物を加熱することによって生成する炭素含有酸化チタンからなる可視光励起型光触媒。炭素含有量は0. 0 1～数%である。上記の可視光励起型光触媒を製造する方法であって、チタニウムのアルコキシド化合物あるいは硝酸塩、または塩化物と炭素を乾燥雰囲気下で混合し、加水分解後に3 0 0℃以上の温度で加熱分解することを特徴とする方法。上記の3 0 0℃以上の温度は、5 0 0から6 0 0℃の温度である可視光励起型光触媒の製造方法。

【選択図】 図2

